

日 誌 (昭和58年7月)

【国 内】

- | | |
|---|---|
| <p>4日 ○臨時行政改革推進審議会、初会合</p> <p>7日 ○東京証券取引所、旧ダウ平均株価、史上初の9,000円台乗せ</p> <p>○証券取引所、委託保証金率を40%から50%に引上げ</p> <p>12日 ○政府、59年度予算概算要求枠を閣議了承</p> | <p>15日 ○日本銀行、7～9月のマネーサプライ見通しを
発表</p> <p>○政府、58年度産米買入価格の引上げを決定</p> <p>28日 ○証券金融会社3社、貸付金利を引上げ</p> <p>30日 ○大蔵省、57年度一般会計決算を発表</p> |
|---|---|

【海 外】

- | | |
|---|---|
| <p>1日 ○英蘭銀行総裁にロバート リーベンパートン氏
就任</p> <p>○イタリア、EC域外向け輸出信用金利引下げ
(15.0%→12.4%)</p> <p>○イタリア銀行、貸出規制枠撤廃</p> <p>○フィンランド中央銀行、公定歩合を引上げ</p> <p>○ポーランド、ズロチの切下げ実施</p> <p>6日 ○香港、預貸金金利の引下げを決定(即日実施)</p> <p>7日 ○英国、財政削減措置を発表</p> <p>12日 ○ハンガリー、フォリントの切下げを実施</p> <p>16日 ○OECD、輸出信用協定による金利下限を一部変更</p> | <p>19日 ○OPEC ヘルシンキ総会、基準原油価格ならびに
産油量上限の現行維持を決定</p> <p>○英蘭銀行、割引商社等に対する金融機関の資金
放出比率の引下げ等を発表</p> <p>20日 ○米国連邦準備制度理事会、84年マネーサプライ
等目標値を発表</p> <p>21日 ○フランス政府、預金金利等の引下げを発表</p> <p>22日 ○ポーランド、戒厳令解除</p> <p>23日 ○香港、預貸金金利の引下げを決定(25日実施)</p> <p>25日 ○米国政府、年央予算改訂見通し等を発表</p> <p>27日 ○米国連邦準備制度理事会議長にボルカー再任</p> <p>28日 ○フランス政府、産業近代化基金の概要を発表</p> |
|---|---|